

永田クラブへ貼り出し

プレスリリース

平成19年5月18日
内閣府食品安全委員会事務局

「食品に関するリスクコミュニケーションー食の安全を理解する上での食育の役割ー」の開催と参加者の募集について（お知らせ）

標記の意見交換会について、別紙のとおり参加者の募集を本日から行いますのでお知らせいたします。

（参考）

1. 日時：平成19年6月10日（日） 11時00分～12時45分
2. 場所：サンドーム福井 管理会議棟 2階 201/202会議室
（福井県越前市瓜生町5-1-1）
※内閣府・福井県主催「第2回食育推進全国大会」同日開催
3. 内容：（1）DVD上映
「21世紀の食の安全～リスク分析手法の導入～」（食品安全委員会）
（2）講演
「食の安全を理解する上での食育の役割～リスクをどうとらえるか」
唐木英明氏（食品安全委員会リスクコミュニケーション専門調査会専門委員）
（3）会場との意見交換

4. 参加申込方法：

※詳細は、別紙を御覧ください。

- ・FAXでお申込みの場合は、別添申込書に所定事項を必ず御記入の上、下記申込先にお送りください。
- ・ハガキでお申込みの場合は、別紙「7. 参加者の募集」の①～⑥の項目を必ず記載し、下記申込先に郵送してください。
- ・インターネットでのお申込みは、下記URLにて受け付けております。所定事項を必ず御入力ください。

（申込先）「食品に関するリスクコミュニケーション（6/10福井）」事務局

- ・FAXでのお申込み：03-5294-2470
- ・ハガキでのお申込み：〒101-0047 東京都千代田区内神田2-1-2
- ・インターネットでのお申込み：食品安全委員会ホームページ (<http://www.fsc.go.jp>) で5月18日（金）17:00から受付開始

（応募フォーム：http://www.itinfo.jp/risk/04/_index.html）

問い合わせ先：「食品に関するリスクコミュニケーション（6/10福井）」事務局

Tel: 03-5294-2700（受付時間 9:30～17:00 土日・祝日を除く）

【本件照会先】

内閣府食品安全委員会事務局
勧告広報課 小川・藤井
電話：03-5251-9208/9209

(別紙)

平成19年5月18日
内閣府食品安全委員会事務局

「食品に関するリスクコミュニケーションー食の安全を理解する上での食育の役割ー」の開催と参加者の募集について（お知らせ）

食育基本法に基づき、平成18年3月に策定された食育推進基本計画では、健全な食生活の実践に必要なことの一つとして、食品の安全性を始めとする食に関する知識と理解を深め、自らの食を自らの判断で正しく選択することが挙げられています。

「食品のリスク」とはどういったことか、「食の安全性」を理解する上で、食育がどのような役割を持つかということについて理解を深めることを目的に、「食育月間」の行事の一環として開催される、「第2回食育推進全国大会」において、下記のとおり、意見交換会を開催することとなりましたので、お知らせいたします。

1. 開催日時：平成19年6月10日（日）11時00分～12時45分
2. 会場：サンドーム福井 管理会議棟 2階 201/202会議室（別紙地図参照）
住所：福井県越前市瓜生町5-1-1
※内閣府・福井県主催「第2回食育推進全国大会」同日開催
3. 主催：食品安全委員会、厚生労働省、農林水産省
4. 参加者：約90名
5. テーマ：食の安全を理解する上での食育の役割
6. プログラム（予定）※敬称略

○DVD上映 「21世紀の食の安全～リスク分析手法の導入～」（約15分）

○「食の安全を理解する上での食育の役割～リスクをどうとらえるか」（約50分）
唐木 英明 食品安全委員会リスクコミュニケーション専門調査会専門委員

○会場との意見交換（約40分）

<進行> 内閣府食品安全委員会事務局

<登壇者> 唐木 英明 食品安全委員会リスクコミュニケーション専門調査会専門委員
齊藤 登 内閣府食品安全委員会事務局長

7. 参加者の募集

参加を御希望の方は、**別添**のとおり、①氏名（フリガナ）、②参加証送付先住所・郵便番号、③電話番号、④FAX番号、⑤勤務先、⑥開催日と開催場所（「6/10福井」と記載してください）を御記入の上、FAX、ハガキ、インターネットで下記にお申し込みください。希望者が多い場合は、先着90名で締め切らせていただく場合がありますので御了承ください（参加費無料）。

◎申込締切 6月6日(水)

また、参加の可否については、参加証の郵送又はFAXによりご連絡いたします。参加証の郵送が間に合わない場合、FAX等でのお知らせとなりますのでFAX番号をお持ちの際は必ず御記入願います。

参加証又はFAX、メール等のお知らせを受け取られた方は、意見交換会当日、会場受

付で、当該参加証又はFAX、メール等のお知らせを御提示ください。

なお、氏名・住所等は、当方から必要に応じて御連絡させていただく場合や会場での参加確認のため、また、どのような立場の方々が御参加されているのかを把握するためにお尋ねしております。

(申込先について)

申込先：「食品に関するリスクコミュニケーション（6/10福井）」事務局

・FAXでの御応募：03-5294-2470

・ハガキでの御応募：

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-1-2

・インターネットでの御応募：食品安全委員会ホームページ(<http://www.fsc.go.jp>)
で5月18日（金）17:00から受付開始

応募フォーム：http://www.itinfo.jp/risk/04/_index.html

問い合わせ先：「食品に関するリスクコミュニケーション（6/10福井）」事務局

TEL 03-5294-2700

（受付時間 9:30～17:00 土日・祝日を除く）

業務管理委託先：株式会社日経スタッフ 責任者：門馬

食品安全委員会では、事務効率改善の観点から、一般競争入札制度のシステムにより決定された民間企業に、会場の確保、参加者受付などの一部業務について、その業務の管理を委託して実施しております。

なお、食品安全委員会から意見交換会の実施事務に関して業務委託を受ける民間企業に対し、今後とも食品安全委員会として適切な指導・監督を行い、個人情報管理に努めてまいります。

【報道関係者の皆様へ】

- ・意見交換会は公開といたします（カメラ撮り可）。
- ・参加を希望される報道関係者につきましては、会場設営の都合上、申込期限（平成19年6月6日（水）正午までに、「食品に関するリスクコミュニケーション（6/10福井）参加希望」を明記し、①会社名、②氏名、③TVカメラの有無、④電話番号、⑤FAX番号、⑥住所、⑦参加人数を記入（様式自由）の上、上記申込先まで御連絡ください。

(別添)

食品に関するリスクコミュニケーション
－食の安全を理解する上での食育の役割－

参加申込書

フリガナ ① 氏名	② 住所 (都道府県から)	③TEL番号(市外番号から) ④FAX番号	フリガナ ⑤勤務先 所属団体等
	<input type="checkbox"/> 勤務先 <input type="checkbox"/> 自宅 〒 _____ - _____	TEL ----- FAX	
	<input type="checkbox"/> 勤務先 <input type="checkbox"/> 自宅 〒 _____ - _____	TEL ----- FAX	
	<input type="checkbox"/> 勤務先 <input type="checkbox"/> 自宅 〒 _____ - _____	TEL ----- FAX	

※ ハガキでのお知らせに間に合わない場合、FAXでのお知らせとなりますので
FAX番号は必ず御記入願います。

・該当する番号に一つだけ○を付けてください。

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| 1) 消費者団体 (生活協同組合関係者など) | 2) 無職、主婦、学生 |
| 3) 生産者 (農林水産業など) | 4) 食品関連事業者・団体 (加工、流通、販売など) |
| 5) マスコミ関係者 | 6) 行政 (自治体職員、独立行政法人等職員など) |
| 7) 食品関連研究・教育機関 (教員、研究職員など) | |
| 8) その他(具体的に御記入ください: |) |

◎申込締切 6月6日(水)

FAX送信先: 03-5294-2470

「食品に関するリスクコミュニケーション (6/10福井)」事務局
(問い合わせTEL 03-5294-2700)

(別紙地図)



<所在地>

福井県越前市瓜生町5-1-1 電話0778-21-3106

<交通機関>

JR北陸本線「鯖江」駅 徒歩15分 タクシー約3分

北陸自動車道

鯖江インターチェンジから約5分 武生インターチェンジから約7分

講演者プロフィール

○ 唐木 英明 (からき・ひであき) 氏

東京大学名誉教授

食品安全委員会リスクコミュニケーション専門調査会専門委員

東京大学農学部獣医学科卒。同大学助教授、教授を経て平成15年より名誉教授。

日本学術会議会員。日本農学アカデミー副会長。日本獣医学会理事、日本薬理学会前理事、日本トキシコロジー学会元理事長、日本予防医学リスクマネジメント学会感染症・食品安全部会部会長。日本農学賞、読売農学賞受賞。World's Most Cited Author。